

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第150回）議事概要

1 日時 令和2年7月14日（火）15：00～16：40

2 場所 Web会議による開催

3 出席者

（1）委員（敬称略）

西尾 章治郎（分科会長）、相田 仁（分科会長代理）、安藤 真、
伊丹 誠、江村 克己、上條 由紀子、國領 二郎、三瓶 政一、
知野 恵子、増田 悦子、村山 優子、森川 博之（以上12名）

（2）専門委員（敬称略）

小瀬木 滋、藤野 義之（以上2名）

（3）総務省

（国際戦略局）

巻口 英司（国際戦略局長）、二宮 清治（官房審議官）、
柴崎 哲也（総務課長）、松井 俊弘（技術政策課長）、
山口 修治（通信規格課長）

（情報流通行政局）

塩崎 充博（放送技術課長）

（総合通信基盤局）

谷脇 康彦（総合通信基盤局長）、田原 康生（電波部長）、
今川 拓郎（総務課長）、布施田 英生（電波政策課長）
片桐 広逸（基幹・衛星移動通信課長）、荒木 智彦（基幹通信室長）、
荻原 直彦（移動通信課長）、田中 博（移動通信課移動通信企画官）、
白石 昌義（電波環境課長）

（4）事務局

日下 隆（情報流通行政局総務課総合通信管理室長）

4 議 題

(1) 答申案件

- ① 「新世代モバイル通信システムの技術的条件」のうち「地域ニーズや個別ニーズに応じて様々な主体が利用可能な第5世代移動通信システム（ローカル5G）の技術的条件等」について

【平成28年10月12日付け諮問第2038号】

【内容】

地域や産業の個別ニーズに応じて地域の企業や自治体等の様々な主体が柔軟に利用可能な第5世代移動通信システムであるローカル5Gについて、昨年6月に一部周波数帯[※]の技術的条件を取りまとめ、総務省において昨年12月に制度整備されましたが、今回、4.6-4.9GHz及び28.3-29.1GHzへの周波数拡充等に関する技術的条件について審議したものの。※28.2-28.3GHz

審議の結果、新世代モバイル通信システム委員会から報告があったとおり、答申案を了承し、答申することとした。

- ② 「空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」のうち「構内における空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」について

【平成30年12月12日付け諮問第2043号】

【内容】

10m程度までの距離にあるセンサ機器に電源コードを使用することなく、電波により給電等を行う工場内などのセンサ機器への給電等に係る空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件について審議したものの。

審議の結果、陸上無線通信委員会から報告があったとおり、答申案を了承し、答申することとした。

(2) 議決案件

- ① 「新たな情報通信技術戦略の在り方」に対する第4次中間報告書について

【平成26年12月18日付け諮問第22号】

【内容】

次期科学技術基本計画や国立研究開発法人情報通信研究機構の次期中長期計画等を見据えつつ、ICT分野で我が国が重点的に取り組むべき技術課題や推進方策等について、昨年10月より技術戦略委員会において検討を行い取りまとめた第4次中間報告書について審議したものの。

審議の結果、技術戦略委員会から報告があったとおり、第4次中間報告

書を了承し、第4次中間答申案として総会に提案することとした。

(3) 報告案件

- ① 「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち「VHF 帯加入者系無線システムの高度化に係る技術的条件」に関する資料の修正について
【平成 25 年 5 月 17 日付け諮問第 2033 号】

【内容】

本年 3 月 31 日付で答申した諮問第 2033 号「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち「VHF 帯加入者系無線システムの高度化に係る技術的条件」について、第 148 回情報通信技術分科会で提出された陸上無線通信委員会報告に記載誤りがあったため、訂正を行うことについて報告があったもの。

- ② 「放送システムに関する技術的条件」の検討状況について（第一次中間報告）
【令和元年 6 月 18 日付け諮問第 2044 号】

【内容】

地上デジタルテレビジョン放送方式の高度化について、放送システム委員会における検討状況の報告があったもの。

- ③ 「航空無線通信の技術的諸問題について」のうち「90GHz 帯滑走路面異物検知レーダー等の技術的条件」の検討開始について
【昭和 60 年 4 月 23 日付け電気通信技術審議会諮問第 10 号】

【内容】

空港滑走路上に落下した小さな異物を正確に検知でき、検知時間や空港滑走路程度の検知範囲を自由に設定可能な 90GHz 帯滑走路面異物検知レーダーの無線設備等に関する技術的条件や国際民間航空条約第 10 附属書の一部改訂に係る国内の技術基準への反映について検討を開始することの報告があったもの。

- ④ 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「60GHz 帯の周波数の電波を使用する無線設備の多様化に係る技術的条件」の検討開始について
【平成 14 年 9 月 30 日付け諮問第 2009 号】

【内容】

60GHz 帯の周波数の電波を使用する無線設備として、広帯域センサの更なる用途拡張のため、センサ同士の共存性に優れ、消費電力が比較的低いといった利点のあるパルス方式のセンサの導入に向けて、必要な技術的条件等について検討を開始することの報告があったもの。

⑤ 第 148 回及び第 149 回情報通信技術分科会の開催について

【内容】

第 148 回及び第 149 回情報通信技術分科会について、文書による審議として開催したことを報告したもの。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信審議会事務局 崎山、新谷

電 話：03-5253-5432

F A X：03-5253-6063

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策のため、送信時は/●/を@に置き換えてください。